



▲日本一の緑歩道めざして

緑道整備

緑道の整備をすべき

答弁：整備を進める

古庄 勝田線跡緑歩道は、緑の回遊都市創出のため事業費9億5千万円をかけ平成5年に整備。その後、毎年2千万円の管理費を投下、町歩きガイドにも掲載している



古庄 信一郎 議員

が、未整備箇所や凸凹も多く、十分に安全で且つ、当初の目的を達しているのか。

町長 先人の思いに充分答えきれていない。

我が町の資源資産として外部にアピールするためにも、きちんと整備する。

美弥跡地開発に提言を答弁…意見を聞いて進める

古庄 美弥商事跡地(4、

462坪)には、地元住民は大型重騒音や交通問題で20年以上苦しみ、緑歩道も112m未整備。今、新たに開発の話が進んでいるが、更地をそのままにしておく事もできず、より良い解決のために、行政として地元と情報を共有し、アドバイスと指導をすべき。

町長 日本一の緑道整備を第一前提に、意見を聞きながら進める。